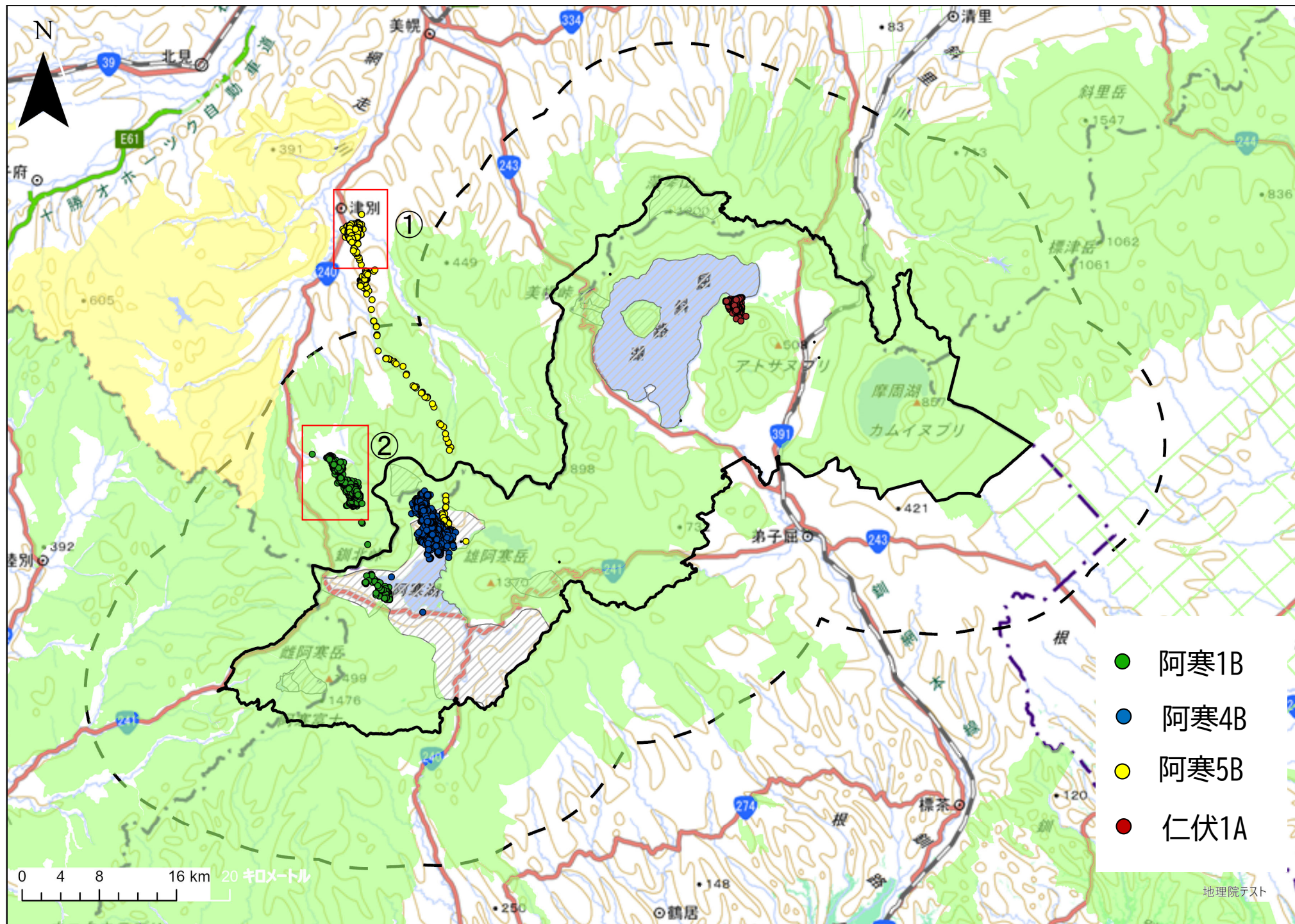


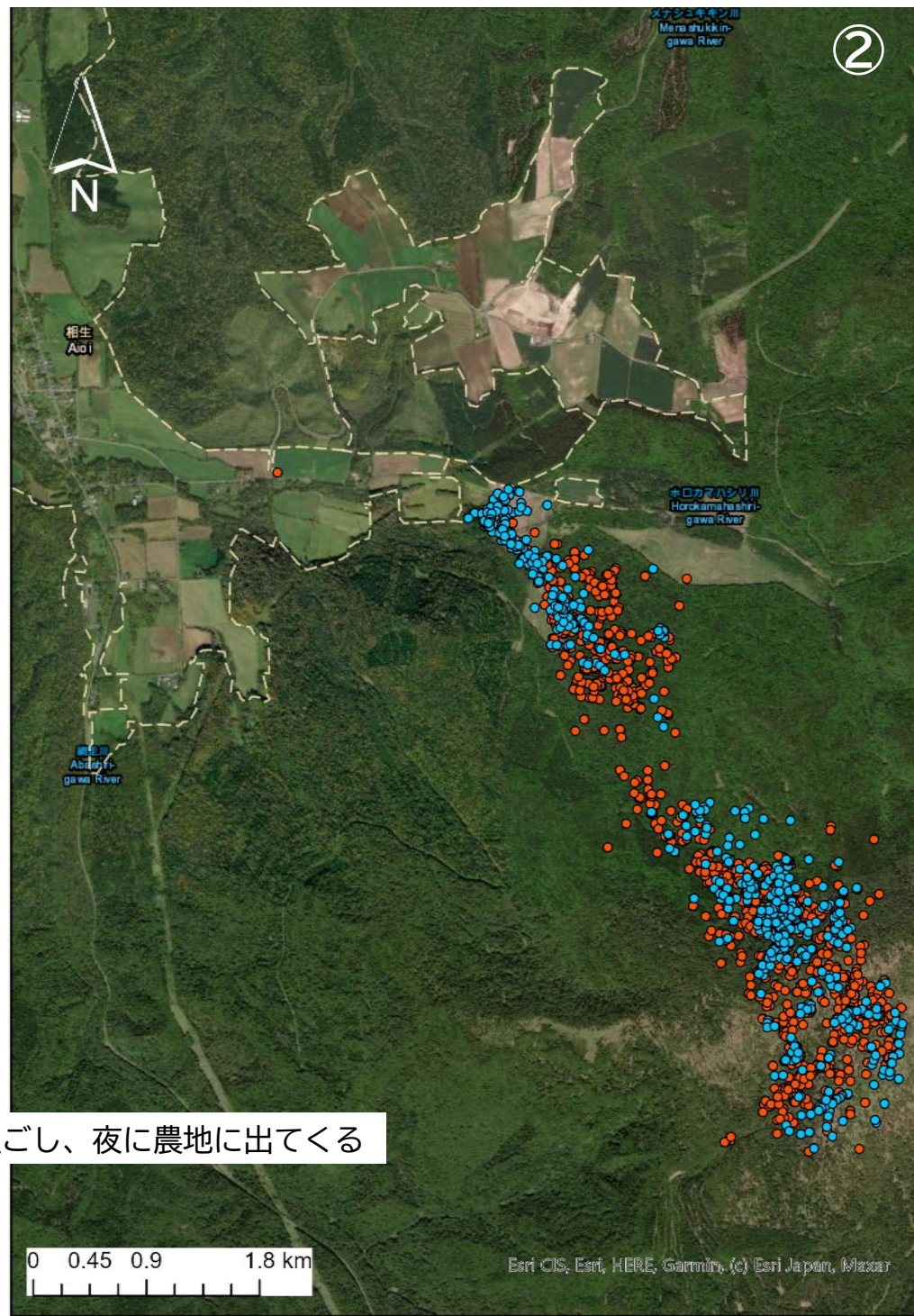
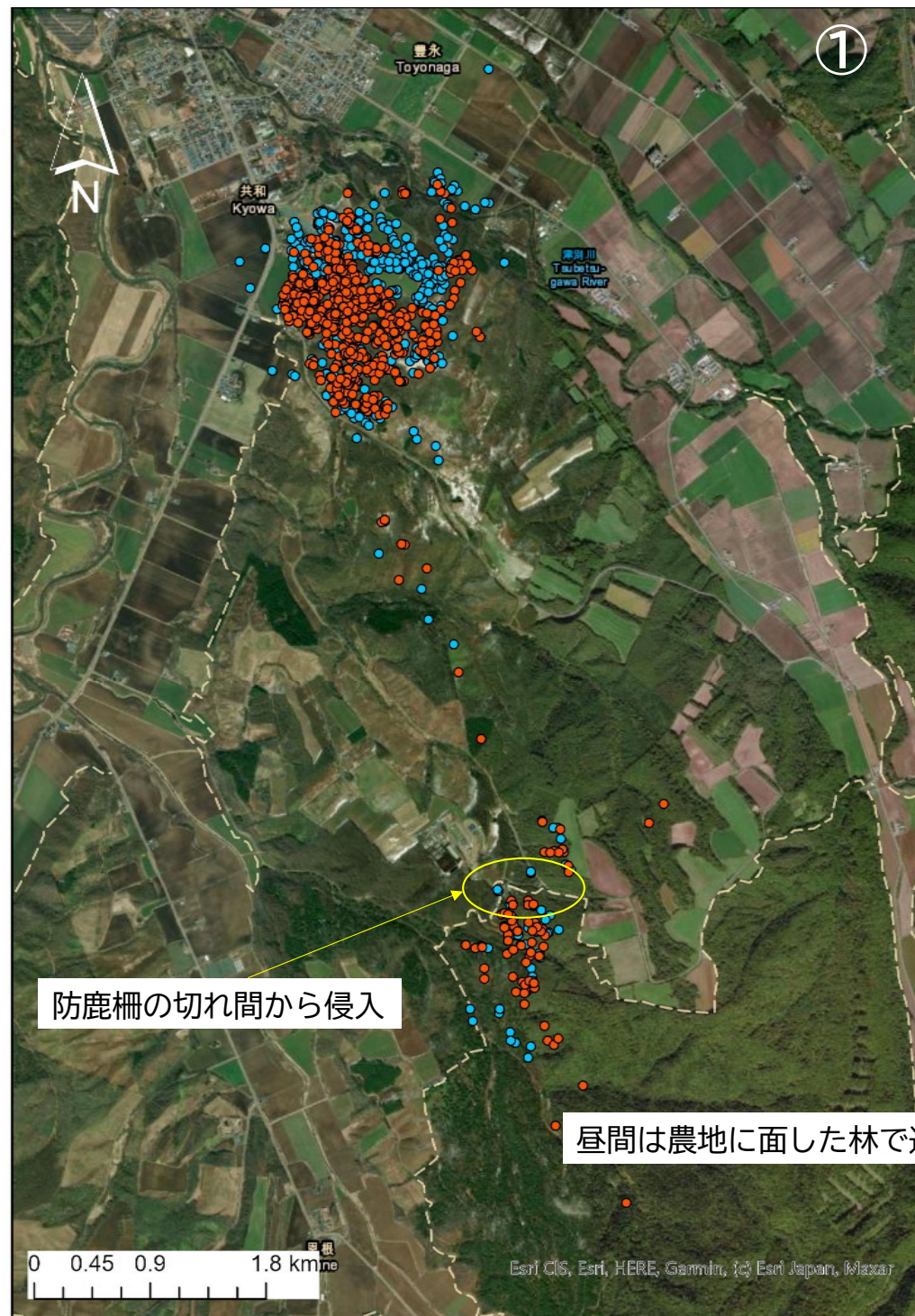
環境省の取組

(GPS首輪による行動追跡結果)

GPS首輪による行動追跡結果(令和6年度の追跡情報)



夏の生息地の拡大図(赤:昼、青:夜、破線:防鹿柵)



昼間は農地に面した林で過ごし、夜に農地に出てくる

定住個体の点密度

- 夏（7、8、9月）の点密度
 - 高
 - 低
- 冬（1、2、3月）の点密度
 - 高
 - 低
- その他の時期の点密度
 - 高
 - 低

その他の記号

- 国立公園
- 隣接地域
- 国有林
- 道有林

Callout Boxes:

- 屈斜路湖北西岸を通年利用
(2個体: 2020年3月-2020年11月)
- 砂湯周辺を通年利用
(1個体: 2019年3月-2020年3月)
- 小清水、清里で夏を過ごし、川湯で越冬
(1個体: 2019年3月-2020年3月)
(1個体: 2019年3月-2019年10月)
- 西別岳南東部で夏を過ごし、釧路湿原(達古武湖周辺)で越冬
(2個体: 2015年3月-2016年3月)
- 阿寒湖北部の山林で夏を過ごし阿寒湖北西岸で越冬
(5個体: 2015年3月-2017年3月)
(2017年3月-2018年3月)
(2023年3月-2024年2月)
(2023年3月-2023年11月)
(2023年3月-2025年2月)
- 津別町で夏を過ごし阿寒湖南岸で越冬
(1個体: 2023年3月-2024年10月)
- 仁伏周辺を通年利用
(1個体: 2023年3月-2025年2月)
- パンケトー北岸で夏を過ごし阿寒湖の南側で越冬
(1個体: 2015年3月-2017年3月)
- 阿寒湖の南側で東西に移動
(1個体: 2015年3月-2017年3月)
- 阿寒湖北部の山林で夏を過ごし越冬地を1年目阿寒湖北西岸、2年目白糠町と変える
(1個体: 2015年3月-2017年3月)
- 標茶町の山林で夏を過ごし、阿寒湖南部で越冬
(1個体: 2021年2月-2021年10月)

Scale: 0 4 8 16 km

国土地理院ウェブサイト(<https://fgd.gsi.go.jp/>)

平成26年度釧路湿原国立公園エゾシカ捕獲手法検討調査業務、平成26年度阿寒国立公園におけるエゾシカ対策調査業務、平成27年度阿寒国立公園におけるエゾシカ対策調査業務
平成28年度阿寒国立公園エゾシカ捕獲対策検討業務、平成30年度阿寒摩周国立公園エゾシカ捕獲対策検討業務、令和元年度阿寒摩周国立公園エゾシカ捕獲対策検討業務